

平成30年第2回 高千穂町議会定例会

一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【 5 名 8 件 】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
6月18日(月) 10:00~	1	本願和茂 議員	2件	1. 景観条例にそった街並みの形成とリフォームの必要性について 2. 公共施設を駐車場として開放することの是非について	1
	2	板倉哲男 議員	1件	1. 高千穂高校への支援について	3
	3	安在昭則 議員	2件	1. 高千穂高校入学支援について 2. 空き家再利用情報公開について	8
	4	磯貝助夫 議員	1件	1. バス停の環境、景観改善について	10
	5	坂本弘明 議員	2件	1. 憩いの部屋の設置について 2. 旅人にやさしい街づくりについて	11

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	本願和茂 議員	1. 景観条例にそつた街並みの形成とりフォームの必要性について	<p>第1回定例会において、観光業や商業の発展に大きく寄与すると考えられる念願の景観条例が制定されました。</p> <p>景観計画の中では、まちなか景観として三田井地区・天岩戸地区があげられていることもあり、神殿通りや天岩戸神社の門前通りを、安心して歩ける魅力ある歩行者空間への整備と沿道修景が進められています。</p> <p>まちづくりワークショップで、地域住民や関係団体から多種多様な意見やアイデアが出て素晴らしい整備が施されますが、石畳や灯籠風の街灯整備だけでは、神秘的な景観を創出するには限界があり一過性のハード整備になる可能性がぬぐい切れません。</p> <p>日本各地にある歴史やロマンを感じさせる街並みや通りを見ても分かる様に、通りに軒を並べる商店や民家の外観も街並みを形成する重要な景観だと考えます。</p> <p>街並み形成に取り組むにあたり取り決めることや、支援すべきことがあると考え以下の事を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ景観区域に適した家屋の外観を官民一体となって模索し、統一性のある外観を取り決め、高千穂らしい町並みを形成出来ないか。 ・まちなみ景観区域の住民を限定対象とした家屋外観リフォーム・修繕費用の支援(現行の住宅リフォーム補助金よりも優遇かつ併用も可能となるもの) ・まちなみ景観区域内の空家・空き店舗を活用して居住または商業を営む場合の改修費用支援と起業支援 	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	本願和茂 議員	2. 公共施設を駐車場として開放することの是非について	<p>熊本地震後も、順調に入込数は回復し平成29年の実績は前年比11.6%増の130万2000人、消費額や宿泊数も約2割から3割、増加していたことが町広報に掲載されていました。</p> <p>新たな宿泊施設も好調な滑り出しのようで、平成27年の入込数161万人を今年は超えるのではないかと期待しているところであります。</p> <p>町で見かける外国人観光客も多く、今後も増加するように誘客をしていくことが重要であり同時にインバウンド増加に対応した在り方も検討すべきだと考えます。</p> <p>観光客や入込客の増加を促す施策を推進する上で、様々なトラブルや問題も多くなると考え以下のことを伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の造成は、積極的に推進しているが、まだ不足している状況かと感じている。今後の駐車場造成計画は。 ・現在、岩戸小学校を観光客向け駐車場として開放しているが、学校の防犯、安全面を考慮すれば観光客への開放はリスクが高く、新たな駐車場も出来たので開放をやめるべきではないか。 ・岩戸小学校も含めた公共駐車場でのごみのポイ捨てが、年々増加しており清掃に費やす時間も長くなっていると聞くため、ごみの処理の在り方も検討すべきではないか。 ・インバウンドの方がレンタカーを利用し観光地を巡る時代となっているが、慣れない地での運転が非常に危険だと報道されている。 インバウンド運転者にも高齢運転者マークのような注意喚起表示が出来るのであれば歩行者などの交通弱者を事故から未然に防ぐことが出来るのではと考えます。 インバウンド入込数が多い自治体などと連携して提言活動、対応策を検討してはどうか。 	町長 教育長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	板倉哲男 議員	1. 高千穂高校への支援について 1-1. コミュニティ・スクールの導入について▼	<p>高千穂高校の定員は、1学年4学級160名ですが、入学者は平成28年度は138名、平成29年度は127名、今年度は110名と、減少傾向にあります。</p> <p>また、西臼杵郡全体の1年間の出生数も減少傾向にあります。</p> <p>かりに、西臼杵郡の全ての子どもが高千穂高校に入学したとしても、定員を大きく下回る時代が、間もなくやってこようとしています。</p> <p>近年の入学者数の減少や、出生数の減少を考えると、高千穂高校の存続が危ぶまれます。もし、高千穂高校が閉校した場合、地域にとっての影響はとて大きいものとなります。</p> <p>高千穂高校が閉校にならないように、町としては町の財源を投入してでも、高校のための施策に取り組むべきではないかと思います。</p> <p>そこで、大きく、3つの論点 (1) コミュニティ・スクールの導入 (2) 高校の魅力化 (3) 財源確保のためのガバメントクラウドファンด์ について、質問をしていきたいと思います。</p> <p>(1) コミュニティ・スクールの導入について</p> <p>まず課題となるのは、高千穂高校は県立高校であり、町は高校の運営について現時点で関りを持っていないという点です。</p> <p>高校の運営に、町が関りをもつには、いろいろなやり方があると思いますが、その一つに、コミュニティ・スクールの制度の導入が考えられます。</p> <p>コミュニティ・スクールとは学校運営が主に学校長および教育委員会の責任によって行われていたものから、それらに保護者や地域の方々が参加する「学校運営協議会」という合議制の機関を設立し、その機関が一定の権限を持って学校運営がなされる学校のことです。</p> <p style="text-align: center;"><次頁へ続く></p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	板倉哲男 議員	1-2. 高校の魅力化について▼	<p data-bbox="852 210 1043 237"><前頁から続き></p> <p data-bbox="603 293 1294 450">これにより地域住民、保護者等が教育委員会、学校長と責任を分かち合いながら学校運営に参画し、より地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりが実現します。</p> <p data-bbox="603 506 1294 663">コミュニティ・スクールの制度の導入について、全国の事例を見てみると、小中学校において数多く導入が進められていますが、高校においても、徐々に増えつつあります。</p> <p data-bbox="603 674 1294 786">大分県では、玖珠美山高校が、九州の公立高校として初めてコミュニティ・スクールの制度を導入しています。</p> <p data-bbox="603 797 1294 954">熊本県では、熊本地震をきっかけに、地域における高校の役割が再認識され、熊本県内のすべての公立高校はコミュニティ・スクールの制度が導入されるそうです。</p> <p data-bbox="603 965 1294 1077">また、長野県の白馬高校では、自治体首長が自ら学校運営協議会の委員となり、高校の運営に積極的に参画しているそうです。</p> <p data-bbox="603 1133 1294 1245">高千穂高校においても、コミュニティ・スクールの制度を導入し、町が積極的に高校の運営に関われる体制づくりを目指すべきではないかと思えます。</p> <p data-bbox="603 1256 1294 1503">コミュニティ・スクールの制度を導入するには、県の教育委員会において決定される必要があります。ぜひ、県の教育委員会に働きかけて、高千穂高校にコミュニティ・スクールの制度を導入し、高千穂町を筆頭に、西臼杵郡3町が高校の運営に関われるようにしてはどうかと思えます。</p> <p data-bbox="603 1559 1294 1715">もちろん、こうした制度の導入はすぐには難しいと思えます。まずは、高千穂高校、高千穂町、PTA、県教育委員会などが集まり、意見交換をする公式の場をつくる必要があるではないかと思えます。</p> <p data-bbox="619 1816 983 1843">(2) 高校の魅力化について</p> <p data-bbox="603 1899 1294 1977">高校を魅力的にするための「高校魅力化プロジェクト」が、日本各地の地方の高校で行われています。</p> <p data-bbox="863 2033 1027 2060"><次頁へ続く></p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	板倉哲男 議員		<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>高校魅力化プロジェクトでは、大きく3つの柱となる取り組みがあります。</p> <p>3つとは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム改革 ・公営塾 ・学習寮 <p>です。</p> <p>まず、カリキュラム改革についてですが、その前に、高千穂町はどのような人材を育てるべきなのか、ということを考えてと思います。</p> <p>高千穂町において求められる人材は、試験でよい点を取り、都会の一流大学に進学し、そのまま大企業に就職するような人材でしょうか？</p> <p>あるいは、いつの日か高千穂町に戻ってきて、家業を継いだり、地元企業に就職したり、新たに起業するなどして、高千穂町を支える一員となるような人材でしょうか？</p> <p>私は高千穂町において求められる人材は、後者だと思えます。</p> <p>そうした人材を育てるには、高校生たちが校舎から地域に飛び出し、地元住民や行政にヒアリングをしながら地域の問題を発見し、課題を設定、解決案を策定したうえで、場合によっては地元住民とチームを組み実行するような、地域課題発見・解決型の教育が実施されるべきだと思います。</p> <p>こうした教育を通して、教室だけでは実感しにくい当事者意識や、問題を発見し解決する能力、起業家精神、リーダーシップなどを身に着けることができます。</p> <p>すでに、高校魅力化プロジェクトにとりくんでいる学校では、地元自治体の協力の元、こうした地域課題発見・解決型の教育が実施されているそうです。</p> <p>次に、公営塾についてです。</p> <p>公営塾とは、行政が運営する学習塾のことです。地方は塾や予備校がなく、都市部に比べ進学が不利だといわれています。この状況を改善すべく、行政が塾を運営する事例が増えています。</p> <p style="text-align: center;">＜次頁へ続く＞</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	板倉哲男 議員		<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>現在では、ICT技術が発達したこともあり、インターネットを通じた動画で授業を受けることも可能になっています。</p> <p>本町は町内全域で光ファイバーが整備されており、ICTを活用した公営塾は、非常に有効だと思います。</p> <p>最後に、教育寮についてです。</p> <p>まず、高千穂高校の寮の問題について簡単におさらいすると、寮の定員を大きく上回る入寮希望者がおり、2人部屋に3人が入っているような状態です。</p> <p>過去の一般質問で、町もお金を出して高校の寮をつくれないう内容の質問もありました。</p> <p>その際の答弁として、地方財政法の27条があるために、町としては、高校の寮の建設のためにお金を出せないという旨の答弁をされていました。</p> <p>たしかに、地方財政法27条は、都道府県の行う土木その他の建設事業で、その区域内の市町村を利するものについては、都道府県は市町村に対し建設事業に要する経費の一部を負担させることができるが、高等学校の施設の建設事業は除くという内容のものです。</p> <p>ですが、地方財政法27条はあくまで、都道府県が管理、運営する高等学校の施設を除くとしているだけで、町が設置、運営する高校生のための寄宿舎の建設を制限するものではありません。</p> <p>実際に、市町村が設置、運営する高等学校寄宿舎に要する経費は、特別交付税措置の算定対象となっています。（特別交付税に関する省令 第3条）</p> <p>先ほど紹介した長野県白馬高校がある白馬村では、特別交付税の措置を受け、村が白馬高校生のための寮を設置、運営しており、さらに、寮を単なる寝食の場とするのではなく、学習力の向上も視野に入れた教育の場としても活用されているとのことでした。</p> <p>高千穂町にとって、高千穂高校の重要性を考えると、町が高校生のための寮を設置、運営してもよいのではないかと思います。</p> <p style="text-align: center;">＜次頁へ続く＞</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	板倉哲男 議員	1-3. 財源確保のための ガバメントクラウド ファンド ▼ 質問▼	<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p style="text-align: center;">(3) 財源確保のためのガバメントクラウド ファンド</p> <p>こうした高校を魅力的にするための施策を実現するには当然、資金が必要で、その財源をどうするのかという問題があります。</p> <p>私は、高校魅力化の財源として、ガバメントクラウドファンドがよいのではないかと思います。</p> <p>すでに前例として、白馬高校魅力化プロジェクトについて、白馬村がガバメントクラウドファンドを実施し、17,435,500円を調達しています。</p> <p>また、北海道夕張市が夕張高校魅力化プロジェクトについて同様にガバメントクラウドファンドを実施し、23,555,999円を調達しています。</p> <p>高千穂町としても、高校魅力化のための財源確保として、ガバメントクラウドファンドに取り組んではどうかと思います。</p> <p>以上を踏まえ、町長にお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高千穂高校の運営に町が積極的に関わるために、コミュニティ・スクールの導入が有効ではないかと思いますが、いかがお考えでしょうか？ また、そのためには、まずは関係者が集まる公式の場が必要ではないかと思いますが、いかがお考えでしょうか？ 2. 高千穂高校生の学習支援策として、公営塾が有効だと考えますが、いかがお考えでしょうか？ 3. 高千穂高校の寮について、県にたよるのではなく、町が自ら寮を設置、運営すればよいと思いますが、いかがお考えでしょうか？ 4. 財源の確保のため、高校魅力化についてのプロジェクトに対するガバメントクラウドファンドに取り組んではどうかと思いますが、いかがお考えでしょうか？ 	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	安在昭則 議員	1. 高千穂高校 入学支援につ いて	<p>高千穂高校は、生産流通科1学級、経営情報科1学級、普通科2学級の計4学級で構成されており、全生徒数367人（内郡外67人）となっています。</p> <p>学年別にみると、3年132人、2年125人、1年110人、と年々減少しています。</p> <p>知ってのとおり全日制高校は4学級から8学級が基本となっており、4学級以下の高等学校については、大幅に定員を満たさない状況が続くなどして更に1学級消滅せざるを得ないことが予測できる時は、統廃合を検討するとなっています。</p> <p>高千穂高校も現在4学級で何とか維持していますが、毎年1割の入学者の減少がみられます。</p> <p>町内中学校卒業者の高千穂高校進学率は、本年度は70%の69人であり、昨年より10人減少しています。</p> <p>現在の小中学校の児童生徒数を見てみると、高千穂町内では各学年約100人ずつ、郡全体では、約156人ずつです。</p> <p>本年度の高千穂高校入学者のうち、郡内の生徒は86名ですので、郡内の約55%の中学卒業者が高千穂高校に進学していることとなります。</p> <p>今後も剣道部等の部活の活躍により郡外の入学も期待できますが確定ではないため、郡内の中学卒業者の確保が重大であります。</p> <p>できれば郡内の70%である110人（内町内80人）の入学を確保していかないと存続が厳しくなり、統廃合対象となる可能性もあります。</p> <p>このまま何もせずいたら入学減少は食い止められなくなります。もし高千穂高校が統廃合になれば、親の経済的負担はかなり大きくなります。</p> <p>宮崎県内では都農高校、飯野高校（えびの市）、福島高校（串間市）の3校が統廃合対象となっており、都農高校は生徒減少により2021年に閉校し高鍋高校に再編統合となっています。他の2校は市の支援策として入学時に5万円の補助を行い、入学者が増加したそうです。</p> <p style="text-align: center;"><次頁へ続く></p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	安在昭則 議員		<p>＜前頁から続き＞</p> <p>現在県立高校入学時の費用は、制服、教材費などで10万円程かかるようです。そのうち半分でも援助できないものでしょうか。</p> <p>高千穂の場合小中学生の児童生徒数は現時点で10年ほど現状維持できます。今のうちに高校存続に向けて高千穂町が率先して取り組むべきではないかと考えますが、町長の考えをお伺いいたします。</p>	町長
		2. 空き家再利 用情報公開に ついて	<p>平成30年第1回定例会において高千穂町空き家対策に関する条例が制定され、空き家の所有者等は周囲の生活環境に悪影響を及ぼさないよう空き家の適切な管理に努めるというものでありました。</p> <p>現在町内には603戸もの空き家があり、確かに周囲に影響を及ぼす空き家も存在しますが、大半は今なら再利用できる物件が多いと思います。</p> <p>現在高千穂では新しいアパート等の建築が次々に行われ、高額にも関わらず入居者もいるようです。</p> <p>今空き家を見ても、まだ使用できる物件もかなりあるようです。物件の空き家状況、所有者は把握できても、今後どうするかまでは把握できていないのが現状だと思います。</p> <p>空き家の管理不全状態の阻止、安全で安心な景観づくり、良好な住環境はもちろん大事ですが、空き家対策として現状調査、実態調査、所有者への意向調査、追跡調査が必要ではないでしょうか。</p> <p>もし賃貸可能であれば空き家状態により改修補助費、再起不能であれば解体費助成金等できないでしょうか。</p> <p>高千穂の空き家状況を町のホームページで情報公開できればUターン、Iターンを含む定住促進と地域の活性化が見込まれると思います。</p> <p>町長の考えをお伺いいたします。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
4	磯貝助夫 議員	1. バス停の環境、 景観改善について	<p>町内のバス停を見てみると、多くの場所にベンチが設置されている。</p> <p>しかしながら、老朽化して使用できないものや、ベンチが設置されていない所も多く、買い物帰りに荷物を持って立っている利用者、特に高齢者の姿を見かける。</p> <p>バスは、高齢者にとって「足」であり、「貴重な移動手段」である。</p> <p>「高齢者に優しい町」というだけでなく、町の景観を損ねかねない状況であり、改善すべきではないか。また、座ってケガをする可能性もあり、早急な対応をお願いしたい。</p> <p>質問内容</p> <p>1 現在設置されている、椅子の維持管理は、どうなっているのか。</p> <p>2 老朽化した椅子の、回収及び新たな設置はできないか。</p> <p>3 椅子の設置は、道路法違反となる場合もあり、勝手に設置することはできないが、町としての改善策はないか。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	坂本弘明 議員	1. 憩いの部屋の 設置について	<p>三田井中心部の高齢者は、徒歩で集える場所を求めています。</p> <p>高齢者たちは人との会話を楽しみにしており、会話することが健康を維持することに役立っているようです。公民館区を越えた、誰でも気軽に寄ることのできる憩いの部屋の設置はできないでしょうか。</p> <p>場所は宮交前の空き店舗が最適と考えますが、トイレの改修や家賃の問題があり、収入が見込める事業者と共に、複合型施設としての運営が望ましいと考えます。</p> <p>また、岩戸中・高千穂中の統合により、岩戸の中学生はバス通学となっていますが、帰宅時間が集中する中、多くの中学生や高校生が宮交バス営業所に集まり、冬の寒さ、夏の暑さの中、バス待ちの生徒たちの居場所がないのが現状です。</p> <p>憩いの部屋を設置することにより、この問題を解決することはできないか伺います。</p>	町長 教育長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	坂本弘明 議員	2. 旅人にやさしい街づくりについて	<p>町民憲章にも謳ってある旅人にやさしい街づくりについて、観光地高千穂には、公衆トイレが少ないとの声があります。</p> <p>観光客の多くは、特に高齢者等は、洋式トイレの設置状況を調べて観光地やレストランなどを決めているようです。</p> <p>近年は、ユニバーサルデザイン（UD）化されたトイレ、L字手すりと羽上げ手すりの2本と背もたれ、ベビーチェア、ベビーベッド、オストメイト、洗浄シンクが装備され、肢体不自由者のための折りたたみベッドまであります。</p> <p>また、観光客だけではなく、高千穂神社、くしふる神社の例大祭において、余興隊からトイレが欲しいとの声もあるようです。</p> <p>トイレの整備と同様に駐車場の整備も重要です。</p> <p>近年は、レンタカーの普及が著しく、中でも外国人観光客が運転しているのをよく見かけるようになりました。</p> <p>街の中を散策する観光客は少数ですが、ほとんどがバスによる来町の様です。</p> <p>観光客は観光マップを頼りに、観光スポットは言うまでもなく食事処、駐車場、トイレ等を探します。しかし、高千穂のマップには、このうちの一部しか記載はありません。特にトイレについては、先述したトイレのタイプを記載する必要があります。</p> <p>観光地高千穂の旅人にやさしい街づくりについて伺います。</p>	町長